

## 市民の安心と都市計画道路の整備について

### 1. 高齢者の見守りについて

問) これまでも水道メーター等、生活機器の使用によって安否を確認する見守りシステムを提案してきた。現在策定作業を進めている次期計画の中での検討状況・方向性は如何か。

福祉部長) 高齢者の安否確認に於ける民間サービスの活用については議題に上がっており、計画決定の後、次年度以降に更に具体的に検討を進めていく。

### 2. 国3・2・8号線について

問) 市役所通りから北側区間の今後の予定は。

建設環境部長) 西武国分寺線のアンダーパス取付部の工事は南側が完了しており、北側の取付

部の工事が来年度にかけて実施される。また引き続き排水管設置工事を進めると聞いている。

問) 五日市街道の拡幅工事の予定は如何か。

建設環境部長) この区間は先に述べたアンダーパス取付部の擁壁工事の後に工事着手する見込みで、現在、設計を進めているということだ。

問) 一年程前に都市計画事業の認可の延伸がされ、令和9年3月31日までと示されているが、今後の交通開放のスケジュールはどのようにになっているか。本当にこれだけかかるのか。

建設環境部長) 今後、残る用地の取得を進め、盛土工事、配水管や電線共同溝の設置工事、水道やガス等の埋設管工事など順次進めていく予

自由民主党市議団  
田中 政義



定と聞いている。市としても都に対して出来る限り早期での交通開放を求めて参りたい。

### 3. 消防団活動について

問) 第五分団詰所は元々、他の用途で使用していた建物をリフォームして詰所として活用している。他分団の詰所と比べて狭隘な事に加え、老朽化も進んでいると感じる。有事の際に防災拠点としての役割を果たせるよう、建て替えを見据えた今後の予定について聞く。

総務部長) 市の財政状況含め、老朽化も鑑みながら建て替えについて検討して参りたい。

## 時勢を捉え、一步先行く対応を！

### 体育の授業時に肌着着用はダメ??

だて) 市立小学校10校のうち半数以上で、体育の授業時に肌着を脱ぐように指導している(個別相談があった際には認める等の例外あり)。

理由は汗でぬれたままにならないようにとのことであるが、替えの肌着を持ってくれば解決する問題。着るも着ないも自由にすべきである。

教育長) 教育委員会としても替えの肌着を持ってくればよいと考える。各学校でのルールの見直しと周知を進めていく。

だて) 学校のルール・校則も時代の価値観に合わせて改善を行うよう要望する。

### 保育の質を確保していくための施策を！

だて) 保育所の増設が進んでいるが、量の確保とともに保育の質の維持向上も重要である。

保育時の様子や運営についてのチェックは事故防止に不可欠であり、そのための仕組みとして民営化された元市立保育園の経験豊かな保育士等を活用し、巡回指導を行わせてはどうか。

市) 指導検査を行う上で保育士等の現場を経験した方の視点は非常に重要。研究していく。

### 保育所入所者の減少局面突入時の検討は?

だて) 入所のピークはいつと想定しているか?

市) 対象年齢児童は令和3年度がピークと推計しているが、保育所への入所希望は令和6年度まで増加していくと見込んでいる。

立憲・市民フォーラム  
だて 淳一郎



だて) 少し先にはなるが、入所者が減少傾向になれば、撤退を余儀なくされる保育所も出てくる。すでに都内でも急な閉園という事例が散見されている中、そういった事態が発生した場合の対応は検討されているのか。また、閉園となった際に多額の税金を投入して建設されている園舎等の施設の扱いはどう規定されているのか。

市) 今は待機児解消が喫緊の課題であり、入所者減少局面での取組は検討に至っていないが大きな課題である。補助金の返納については施設の転用等の状況によって対応が決まっていく。

## 非常時を乗り越え、将来を見据えた市政を。

### 教育における民間サービス活用について

丸山) 以前より収入格差による学力格差の是正と教育バウチャー導入等を求めてきた。今般GIGAスクール構想で学習端末が各児童・生徒ごとに貸与される。これを機に受験にも対応するソフト等を導入すべきだ。市の認識を問う。

教育長) 現状、他自治体含め教材は「学びの保障」の観点で導入しているが、今後自治体ごとの新たな教材が検討されることも想定される。情報を収集し研究して参りたい。

丸山) 本件は生活福祉的な観点も必要だ。庁内で横断的に連携し研究調査をして頂きたい。

教育長・福祉部長) 課題等を共有して参る。

### 財政運営について

丸山) コロナウイルス感染症はこれまで以上のペースで拡大・猛威を振るっている。こうした背景の下、来年度予算について歳入面、特に市税収入の相当規模での減収が想定される。一方歳出減はそれに追いつかず、このままでは市民の生活に関わる事業経費が削減される可能性を懸念。市の認識と対応はどうか。

政策部長) 予算編成は基本的に歳入に合わせた歳出を組むことが原則だが、来年度は「非常時」としての対応が必要と認識。その方針で市民の暮らしを守るための経費は計上していく。

丸山) 「非常時」との答弁について全く同認識

自由民主党市議団  
丸山 哲平



だ。市はこれまで収支均衡予算を旨とし、不断の事業見直しを図ってきた。その点は高く評価している。だが、来年度は例年とは異なり基金の運用等、柔軟且つ機動的な財政運営が必須と考える。しっかりと対応頂きたい。

市長) 市民の命と生活を守るために必要な予算編成をしっかりとやっていきたい。財政規律を保ちつつ、基金含めあらゆる手段を検討する。

その他: 市役所の電話回線、国立駅前での期日前投票所設置、日吉町交差点における右折信号設置、市内喫煙所につき質問。

## コロナ感染予防ワクチンの接種体制整備を

### 1. コロナ禍に於ける予防接種の推進について

(1) 問) 乳幼児の予防接種や高齢者の肺炎球菌ワクチン、又集団免疫の視点から風疹対策も含め早期接種が重要。各種接種体制の整備を。市) 感染対策に留意しつつ着実に推進する。

### (2) コロナ感染症予防ワクチン接種を万全に

問) 今年度は国の通達を受け新型コロナウイルス感染症との同時流行に備え高齢者へのインフルエンザ予防接種を無料で優先的に実施しているが、希望者数が想定を上回り例年実績を超え様々な課題が見えた。今後新型コロナウイルス感染症予防ワクチン接種が導入された場合、高齢者や子ども達、基礎疾患のある方等優先順位

の考え方、医師数の確保、医療現場の負担を考慮し医師会未加入機関にも協力していただく等、医師会とご協議頂き万全な接種体制の整備をするべく慎重に検討し準備をお願いしたい。

市) 今後、国の動向を注視し必要な協議を速やかに行い適切に準備して参りたいと考えている。

### 2. 障がい者支援バンダナ追加購入について

問) 障がい者が必要とするサポートを可視化する支援バンダナの配置が好評。災害時限定ではなく日常的に支援が受けられるよう追加を。

市) 団体・利用者からも「障がい内容が一目でわかり使い易い」と好評。追加購入を実施する。

### 3. ぶんバス北町ルート座席増の要望進展は

問) 感染防止対策や乗客の積み残し解決にも座席数の増加が求められる。車両見直しの進捗は。

市) 北町の道路狭隘状況から車体制限はあるが来年夏迄に車両の入れ替えで4席増加を決定。

4. 特殊詐欺被害防止の取り組みで防犯対策を問) コロナ禍で人との接触が減り相談できないまま被害が急増と聞く。録音機能付き電話機の貸与や購入助成の案内を介護者や離れて暮らす親族への郵送物に同封等工夫し他課との連携を。

市) 庁内横断的に連携し被害防止に取り組む。

その他) 高齢者健康施策フレイル予防等質問。

公明党  
高橋 りょう子

